

重要文化財

秋季一般公開のお知らせ

大山寺阿弥陀堂



伯耆大山寺の阿弥陀堂は、もともと常行堂として使用されてきた建物で、享祿2年(1529)の災害で流出し、天文21年(1552)に古材を利用して現在の場所に再建されました。

各所に鎌倉様式をもつ、伯耆大山寺では最も古い室町時代末期頃の建物で、その構造は5間四方の方形造、こけら葺きです。

建物の中には、同じく重要文化財に指定されている阿弥陀三尊像(中尊阿弥陀如来と両脇侍の勢至菩薩像と観音菩薩像)が祀られています。

◆日時 10月31日(土)、11月1日(日)

10時から16時

◆拝観料 無料

門脇家住宅

大山町所子にある重要文化財門脇家住宅の秋季一般公開の日程が次のとおり決まりました。
鳥取県の大型民家を代表する門脇家住宅は、明和6年(1769)に建てられた茅葺屋根・寄棟造の旧家です。土間から見える高く組み上げられた太い梁が豪壮な様相を表しています。また、文政年間に建てられた茶室は坪庭と調和してみごとな景観を作り出しています。



◆日時 10月28日(水)から11月3日(火)

9時から16時

◆入館料 大人 500円(20人以上400円)

高校生 300円

小中学生 200円

※大山町観光ホームページにも載せております。

★門脇家住宅特別企画!

箏曲ミニコンサート開催

重要文化財門脇家住宅で箏による第二重奏の演奏を行います。約240年前の江戸時代に建てられた歴史ある建物の中で、ゆったりと生の音色を味わってください。

演奏者

米子市在住 住田康子さん

山石裕子さん

日時 平成21年10月31日(土)

16時30分〜(30分程度)

場所 重要文化財門脇家住宅

(大山町所子360)

ミニコンサートは無料

(門脇家住宅一般公開は16時で終了)

主催 門脇家住宅等保存協力会

後援 大山町教育委員会

※事前申し込み必要(先着50名)

※申込先

☎0859・53・4062

(門脇明子)